

# kanamoto カナモトエグザミナー examiner

株主の皆様ならびに投資家の皆様へ



vol.107

第60期(2024年10月期) 第1四半期号

## 役員紹介(2024年4月1日現在)

当期の取締役並びに監査役と執行役員をご紹介します。

### 取締役



金本 寛中  
代表取締役会長



金本 哲男\*  
代表取締役社長  
営業統括本部長



金本 龍男\*  
鉄鋼事業部管掌



橋口 和典\*  
人事部長  
事業開発室長



三野宮 朗\*  
業務部長  
特販部長  
(株)カナテック代表取締役社長



渡部 純\*  
レンタル事業部長  
特需営業部長  
ニュープロダクツ室長  
(株)KGフローテクノ代表取締役社長



廣瀬 俊\*  
経理部長  
広報室長  
事務センター管掌



山下 英明\*  
海外事業部長



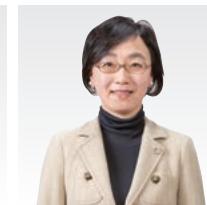
内藤 進  
社外取締役



有田 英司  
社外取締役



米川 元樹  
社外取締役



田端 綾子  
社外取締役

### 監査役



大川 哲也  
社外取締役



金本 栄中  
常勤監査役



横田 直之  
常勤監査役



生島 典明  
社外監査役



石若 保志  
社外監査役



竹内 巖  
社外監査役

### 執行役員

熊谷 浩 情報システム部長  
問谷 悟 レンタル事業部長・(株)アシスト代表取締役社長  
佐藤 信幸 経営企画部長  
中谷 秀樹 内部統制監査室長  
田中 誠一 (株)ニシケン代表取締役社長

渡辺 光郎 ユナイト(株)代表取締役社長  
小野田 隆司 総務部長・秘書室長  
山根 恵司 九州地区統括部長・特機エンジニアリング部長  
伊藤 徹 東北地区統括部長・(株)セントラル代表取締役社長  
藤原 靖仁 関連企業室長

(注)1. \*印の取締役は、執行役員を兼任しております。 2. 役職名は一部兼務役職を省略しております。

# 第60期第1四半期決算の概況 [2023年11月1日～2024年1月31日]

## ● 連結経営成績

括弧内の数字は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率(%)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)
第60期第1四半期	50,118 (1.2)	2,985 (△ 3.6)	3,200 (△ 2.1)	1,778 (2.3)	49.47
第59期第1四半期	49,508 (5.9)	3,096 (△ 6.5)	3,267 (△ 6.9)	1,738 (△ 16.1)	47.31

## ● 連結業績予想(累計)

第60期第2四半期	101,000 (3.8)	5,900 (10.7)	6,000 (9.3)	3,400 (16.3)	95.31
第60期通期	205,300 (4.0)	14,100 (17.9)	14,300 (14.5)	8,300 (23.5)	234.09

### 【経営環境】

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や政府の各種政策等の影響により緩やかな回復が見られた一方で、海外経済の不確実性や世界的な金融引き締めに伴う影響など、国内の景気を下押しするリスクもあることから、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが関連する建設業界におきましては、公共投資は底堅く推移し、民間設備投資も持ち直しの動きがみられるなど、建設投資は比較的堅調な状況で推移いたしました。しかしながら、建設資材・エネルギー価格の高止まりや労務費の上昇等による影響があり、引き続き注視が必要な状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、中期経営計画「Creative60」(2020年度～2024年度)の最終年度を迎え、3つの重点施策「国内営業基盤の拡充」「海外展開」「内部オペレーションの最適化」を進め、次期中期経営計画の基盤形成に向けた体制構築に注力いたしました。一方、サステナビリティを意識した事業展開や様々な社会環境変化への積極対応で事業のレジリエンスをより強化し、企業価値の向上と持続的成長の実現もめざしてまいります。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、売上高は堅調に推移したことから501億18百万円(前年同期比1.2%増)となりました。利益面につきましては、海外事業等での出

遅れがあり、営業利益は29億85百万円(同3.6%減)、経常利益は32億円(同2.1%減)、また、親会社株主に帰属する四半期純利益は17億78百万円(同2.3%増)となりました。

### 【セグメント別の業績】

#### 建設関連

主力事業である建設関連におきましては、各種大型プロジェクトの進行に加え、インフラ整備、防災対策工事など、地域差はありますが、全体として建設機械のレンタル需要は堅調さを取り戻しております。また、当社グループでは、システムを活用したレンタル単価の適正化を推進しつつ、営業拠点の選択と集中、保有資産の管理体制の強化に注力するなど、稼働率向上に向けた施策の継続に努めております。

中古建機販売につきましては、期初計画どおりレンタル用資産の運用期間の延長を図りつつ、適正な資産構成の維持に向けた売却を進めたことから、売上高は前年同期比11.8%減となりました。

以上の結果、建設関連事業の売上高は453億15百万円(前年同期比0.5%増)、営業利益は26億33百万円(同1.1%減)となりました。

#### その他

その他の事業につきましては、鉄鋼関連、情報関連、福祉関連ともに底堅く推移したことから、売上高は48億3百万円(前年同期比9.2%増)、営業利益は2億18百万円(同28.1%減)となりました。

## ■ 連結財務諸表

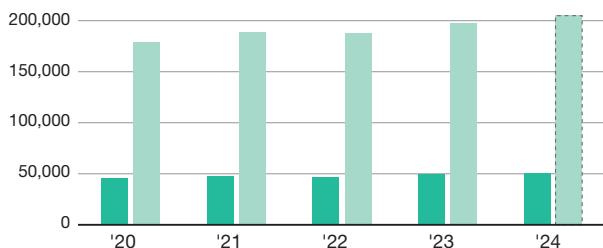
### 四半期連結損益計算書(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)	第59期第1四半期 (2022.11.1~2023.1.31)	第60期第1四半期 (2023.11.1~2024.1.31)
① 売上高	49,508	50,118
売上原価	35,414	35,899
売上総利益	14,094	14,219
販売費及び一般管理費	10,997	11,233
② 営業利益	3,096	2,985
営業外収益	268	327
営業外費用	96	112
③ 経常利益	3,267	3,200
特別利益	4	12
特別損失	77	56
税金等調整前四半期純利益	3,194	3,156
法人税、住民税及び事業税	709	735
法人税等調整額	537	474
四半期純利益	1,946	1,947
非支配株主に帰属する四半期純利益	208	169
④ 親会社株主に帰属する四半期純利益	1,738	1,778

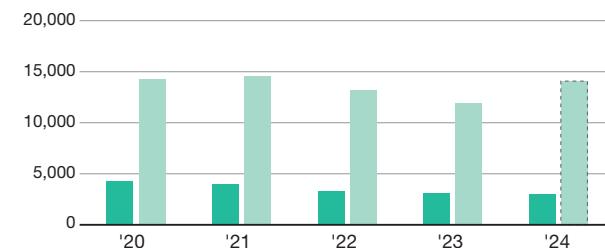
### 四半期連結包括利益計算書(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)	第59期第1四半期 (2022.11.1~2023.1.31)	第60期第1四半期 (2023.11.1~2024.1.31)
四半期純利益	1,946	1,947
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	128	319
繰延ヘッジ損益	—	0
為替換算調整勘定	△ 625	2
退職給付に係る調整額	1	1
その他の包括利益合計	△ 495	324
四半期包括利益	1,451	2,271
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,237	2,097
非支配株主に係る四半期包括利益	213	173

#### ① 売上高



#### ② 営業利益



## 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)	第59期 (2023.10.31)	第60期第1四半期 (2024.1.31)
(資産の部)		
流動資産	120,298	124,850
固定資産	196,141	197,103
有形固定資産	173,977	175,461
無形固定資産	5,778	5,535
投資その他の資産	16,386	16,106
資産合計	316,440	321,953
(負債の部)		
流動負債	87,624	91,654
固定負債	85,139	86,496
負債合計	172,763	178,151
(純資産の部)		
株主資本	129,198	128,821
資本金	17,829	17,829
資本剰余金	19,432	19,400
利益剰余金	97,842	98,178
自己株式	△ 5,906	△ 6,588
その他の包括利益累計額	5,296	5,616
其他有価証券評価差額金	2,983	3,300
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	2,343	2,345
退職給付に係る調整累計額	△ 30	△ 29
非支配株主持分	9,181	9,365
純資産合計	143,677	143,802
負債純資産合計	316,440	321,953

## とってもいいモノ・読者プレゼント

巻末のアンケートハガキをご返送いただいた方のなかから、抽選で100名様にノベルティグッズをお贈りいたします。

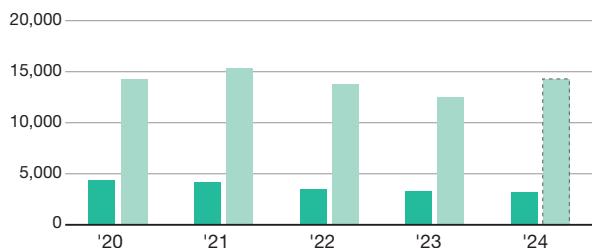
今号は、パイロット社製の「フリクションボール3 スリム」です。1本で3色を使い分けでき、何度でも書き消し可能な利便性の高いボールペンです。リフトクリップは、厚いものでもしっかり挟め、10万回はさんでもこわれません（メーカー試験データによる）。箱はFSC認証紙を使用し、環境にも配慮した仕様。本体はホワイト軸へ当社ロゴを印刷したシンプルで使いやすい多色ペンとなっています。



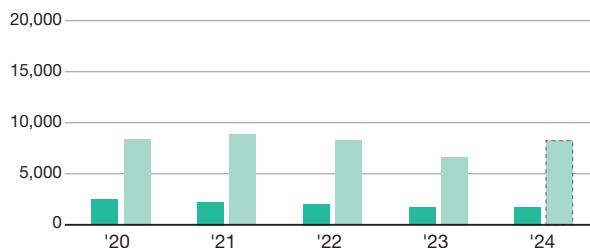
サイズ:軸最大径φ12.8mm×全長145mm

ご応募の締め切りは2024年5月10日(金)当日消印有効です。  
なお、当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

### ③ 経常利益



### ④ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



# TOPICS

**1Q**

2023.11

- 株式会社ニシケン(連結子会社)が第一機械産業株式会社(連結子会社)を吸収合併

2023.12

- IR 2023年10月期業績予想の修正について発表
- IR 自己株式取得に係る事項の決定について発表
- IR 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について発表
- IR 第59期(2023年10月期)決算発表、機関投資家向けオンライン説明会を実施
- 「建設施工と建設機械シンポジウム」で内径100mm以下のパイプラインを点検するロボット・人工筋肉ミズ型ロボットとフレキシブルセンサー(カナモト・ソラリス・CAST)を発表し、優秀賞(開発ポスター部門)を受賞
- IR 剰余金の配当について発表

2024.1

- 軽油代替燃料(バイオ燃料)発電機の導入について発表
- 第59回定時株主総会を開催
- 振動打込み・引抜き計算システムサイトを開設

**2Q**

2024.2

- 電動二輪車向けバッテリー交換ステーション「Gachacoステーション」設置について発表

2024.3

- IR 第60期(2024年10月期)第1四半期決算発表
- 土砂運搬可視化システムの導入について発表
- 無人レンタカー「フルタイム・レンタルサービス」の開始について発表
- IR 自己株式の取得状況および終了について発表

2024.4

- グループ合同入社式・新入社員研修を実施(新入社員は79名)

## TOPIC 1 一般社団法人 ロコ・ソラーレとスポンサー契約を締結 2024.3

当社は、芸術文化やスポーツを支援する活動も企業価値の向上につながるものと認識しており、その一環として一般社団法人 ロコ・ソラーレとスポンサー契約を締結いたしました。

2010年8月に北海道北見市常呂町で結成されたロコ・ソラーレは、国内外の主要大会で好成績を収め、日本代表として出場した2018年平昌五輪ではカーリング競技史上初の銅メダルを獲得した日本随一のチームです。

今後も当社は、ロコ・ソラーレをはじめスポーツへの支援を通じてスポーツ振興と地域活性化に寄与してまいります。



一般社団法人 ロコ・ソラーレ  
<https://locosolare.jp/sponsor/>

## TOPIC 2 健康経営優良法人2024に認定 2024.3

当社は、経済産業省が認定する健康経営優良法人認定制度において「健康経営優良法人2024(大規模法人部門)」に認定されました。当社は「人権の尊重、従業員の健康・労働環境への配慮を進め、社会的労働環境改善への貢献」を目指し、様々な取り組みを実施しています。この度の認定を踏まえ、今後も健康保持・増進のための取り組みを進め、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

※「健康経営優良法人認定制度」とは、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営\*を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰するため、2017年から開始された認定制度です。

\*健康経営\*は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。



## 会社概要 (2023年10月31日現在)

商号	株式会社カナモト (英文: Kanamoto Co., Ltd.)
本社	札幌市中央区大通東3丁目1番地19
営業統括本部	東京都港区芝大門1丁目7番地7
設立	1964 (昭和39) 年10月28日
資本金	178億29百万円 (払込済資本金)
上場取引所	東京証券取引所プライム市場・札幌証券取引所
証券コード	9678
発行済株式総数	38,742千株
連結売上高	1,974億81百万円 (2023年10月期)
連結従業員数	3,910名 (役員、嘱託、臨時社員を除く)

## 役員 (2024年4月1日現在)

代表取締役会長	金本 寛中	監査役	金本 栄中
代表取締役社長	金本 哲男*		横田 直之
取締役	金本 龍男*		生島 典明
	橋口 和典*		石若 保志
	三野宮 朗*		竹内 巖
	渡部 純*	執行役員	熊谷 浩
	廣瀬 俊*		問谷 悟
	山下 英明*		佐藤 信幸
	内藤 進		中谷 秀樹
	有田 英司		田中 誠一
	米川 元樹		渡辺 光郎
	田端 綾子		小野田 隆司
	大川 哲也		山根 恵司
			伊藤 徹
			藤原 靖仁

(注) 1. \*印の取締役は、執行役員を兼任しております。  
2. 取締役内藤進氏及び取締役有田英司氏、取締役米川元樹氏、取締役田端綾子氏、取締役大川哲也氏は社外取締役であります。  
3. 監査役生島典明氏及び監査役石若保志氏、監査役竹内巖氏は社外監査役であります。

## 株主メモ

事業年度	11月1日～翌年10月31日
定時株主総会	毎年 1月中
同総会議決権行使株主確定日	毎年 10月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年 4月30日
期末配当金受領株主確定日	毎年 10月31日

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社
同郵便物送付先	三菱UFJ信託銀行株式会社
及び電話照会先	

当社公告の掲載につきましては、当社ホームページに掲載いたします。  
ホームページのURLは下記のとおりです。

<https://www.kanamoto.co.jp> または <https://www.kanamoto.ne.jp>  
なお、やむを得ない事由により、ホームページに公告を掲載することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

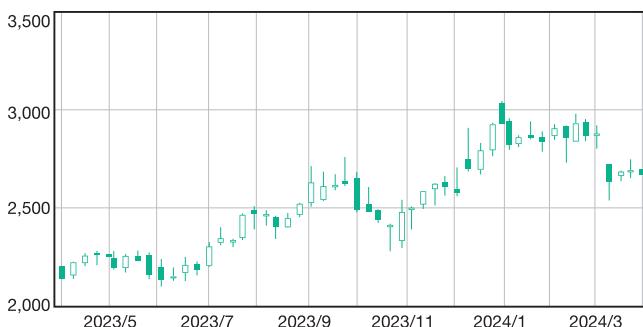
証券代行部	〒100-8212 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
証券代行部	〒137-8081 新東京郵便局 私書箱第29号 電話 0120-232-711

### 株式に関する各種お手続きについて

- 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 株価チャート (週足)

単位: 円





本誌は、ベジタブルオイルインキを使用しております。



PEIAGAT URUSAN  
**JP Nelson** EQUIPMENT (KL) SDN BHD  
 **KANAMOTO & JP NELSON**  
EQUIPMENT (M) SDN. BHD.

**LOT-C43**



**株式会社 カナモト**

<https://www.kanamoto.co.jp>  
(証券コード9678)

本社

〒060-0041 札幌市中央区大通東3丁目1番地19 Tel:(011)209-1600(大代表)

営業統括本部

〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目7番地7 Tel:(03)5408-5600



KANAMOTO & JP NELSON EQUIPMENT(マレーシア ヌグリ・スンビラン州)